



木曽林務課だより

6月

梅雨入りのニュースが流れる中、6月4日の晴天の御嶽山のふもと「おんたけ銀が村キャンプ場」周辺の森林で、王滝村の森林の里親である愛知製鋼グループの皆さんの「森づくりボランティア」が行われました。

森林（もり）の里親の森づくりボランティア活動 「“愛知製鋼グループ”の皆さんが青空の御嶽山麓で森林整備」

王滝村と愛知製鋼株式会社さんは、2019年4月に「森林（もり）の里親」契約を締結し、本年4月に契約の更新を行っていただいたところです。

2020年以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加人数を制限するなどの感染対策を徹底の上活動してきましたが、本年度は約30名の方々に参加をいただき、除伐や枝打ち作業を行っていただきました。

午後は、道路沿いのヤブの除去などの景観の整備も行っていたいただき、通行される方々も目を止めるほど美しい沿道となりました。

今年も、恒例の巨大なノコギリによる丸太切り体験を行い、ご家族でよい汗を流していただきました。

最後に、アダプトサインをバックに記念撮影をし、清々しい一日を締めくくりました。

今後も、愛知製鋼グループの皆様様の森林づくりへのご参加をお待ちしております。



参加者全員で安全作業の確認



安全確認しながら伐倒



大きなノコギリでみんなで協力して丸太切り



いい汗をかいて、笑顔の「愛知製鋼グループ」の皆さん

©長野県木曽地域振興局林務課 令和4年6月8日